

降霊会の夜

——汝の目覚めかけた魂が大いなる幻影の吠える声に反応するならば、
汝の魂は神の宮となるにはふさわしくないと知れ
ヘレナ・P・ブラヴァツキー

01.はじめに

このシナリオは『新クトゥルフ神話 TRPG ルールブック (7 版)』の 1920 年代探索者、または『クトゥルフ神話 TRPG (6 版)』『クトゥルフ・バイ・ガスライト』を用いた 1890 年代探索者で遊ぶことができます。6 版で遊ぶ場合は、技能や対抗ロール、ボーナスダイスの扱いをコンバートしてください。

PC1~4 人向けにデザインされたショートシナリオであり、想定プレイ時間はオフラインセッションやボイスセッションで 2~3 時間程度、テキストセッションで 5~7 時間程度です。ヴィクトリア朝イギリスのリアル知識は無くても大丈夫。TRPG 初心者でも楽しめるよう意図しています。

●技能判定の表記について

本シナリオにおいて、技能判定は下記のように表記します。

→ 〈応急手当〉〈医学〉

彼は怪我をしているようだ。

これは、「〈応急手当〉または〈医学〉の判定に成功した場合、彼が怪我をしていると推測できる」という意味です。KP はこれ以外の技能成功でも情報を開示して構いません。

02. 今回予告

19 世紀末のイギリスでは、霊と交信し、心霊現象を体験できるという触れ込みの「降霊会」が人気を博していた。この世を去ってしまったあの人と、もう一度会いたい。話がしたい。それが霊媒師の手品に過ぎないと曝かれてもなお、人々は止まらなかった。

熱に浮かされたような流行の中、探索者もまた、ある夜の降霊会に招かれることになる。失踪した貴族を探すその試みが、惨劇の引き金になるとも知らずに……

03. 探索者の作成について

このシナリオのテーマは「**ヴィクトリア朝のお家探検**」です。探索が中心ですが、戦闘もあります。探索者の社会階級は問いません。各階級に応じた探索場所を用意しています。継続探索者であっても参加しやすいシナリオでしょう。

●〈信用〉について

この時代は、現代よりもはるかに〈信用〉が重んじられた時代です。探索者が公的な場で野蠻な振る舞いをした場合、KP は〈信用〉の技能値を減少させることができますでしょう。

04. NPC の紹介

マダム・ハーン (47 歳)

ウクライナ出身の有名な霊媒師です。イギリスやアメリカ、インドなどで多数の支持者を集めていましたが、英国心霊現象研究協会 (SPR) に「神秘的な現象はトリックである」と曝かれ、彼女の権威は失墜しました。失意の人生を送っていた彼女は、ある時、古書店で魔道書を手に入れます。充分な解読ができず、不完全ではあるものの、ヨグ＝ソトースの力によって怪現象が起こせるようになった彼女は、再起をはかって SPR に挑戦状を送りました。一見、落ち着いた優雅な女性に見えますが、その内には激しい気性を秘めています。

ジェニー・フォックス (18 歳)

貧民街で生き抜いてきた使用人です。労働斡旋所で紹介されて、マダム・ハーンの付き人を始めましたが、出会って半年で、彼女の人使いの荒さにウンザリしています。("仕事"ができず困窮しているマダム・ハーンとしては、ロクなメイドの経験も教養も無いジェニーを雇うしかありませんでした)。心霊現象については、世の中に数ある、自分は知らないしどうでもいいことの一つだと思っています。

STR:50 CON:60 SIZ:45 INT:45 POW:80
DEX:65 APP:50 EDU:30 SAN:80 H P:10
技能：手さばき 70%、夜目 50%、鍵開け 40%、
射撃 (拳銃) 60%

武器：近接戦闘 (ナイフ) 50% 1D6 ダメージ

サー・レオノール・パイパー (24 歳)

若き男爵です。ぶっきらぼうな性格ですが、フェンシングの欧州大会で三位を取るほどの実力と眉目秀麗な容姿から、周囲は彼を物憂げで魅力的な人物と解釈しています。実は怪奇現象は大の苦手であり、廃墟に入ることすら怖がるのですが、マ

ダム・ハーンの降霊会に箔を付けるため、参加する羽目になってしまいました。

STR:65 CON:70 SIZ:65 INT:60 POW:40
DEX:80 APP:75 EDU:60 SAN:40 H P:13
技能：信用 70%

武器：近接戦闘 (フェンシング)：90 %
1D6+1+1D4

※技能は有していますが、社交の企画にわざわざ武器を持ってきてはしません。

ヘンリー・シジウィック (52 歳)

心霊現象研究協会の初代会長にして、ケンブリッジ大学教授です。開明的な性格であり、女性に対する高等教育を推進しました。探索者が女性や非キリスト教徒、外国人、下層階級であったとしても、好意的に接してくれるでしょう。

ジョージ・オルコット (41 歳)

オカルト雑誌『科学時代の答え』の編集長です。マダム・ハーンの熱烈な支持者であり、彼女の再起を影ながら応援していました。今回の降霊会を盛り上げるべく画策しています。

05. シナリオの背景

シナリオの 6 年前、ピーター・レジingham 準男爵に悲劇が訪れました。彼の婚約者が馬車の事故で死んでしまったのです。悲しみに暮れた彼は、やがて魔道に身を堕とし、使用人を犠牲にしたヨグ＝ソトースの力によって、過去との交信を試みません。時間を越える所業は恐るべき神話生物「ティンダロスの猟犬」に狙われることを知っていたレジingham 卿は、対抗するための品々も仕入れていました。

シナリオの当夜、マダム・ハーンもまた、ヨグ＝ソトースの力を借りて、失踪扱いとなっているレ

ジンガム卿の降霊を試みます。彼女の呪文は不完全なものでしたが、レジンガム卿も同様の試みをしたことから、両者は混信してしまいます。

時を超えて生きている婚約者に警告するはずだったレジンガム卿ですが、マダム・ハーンや探索者たちと交信してしまったことで狂乱し、あらわれたティンダロスの猟犬になすすべもなく殺されてしまいます。当時のスコットランド・ヤードは、レジンガム卿の所有していた鉱山をめぐる上流階級の諍いから、ほとんど捜査することなく事件に幕を引きました。

そして、ティンダロスの猟犬は、探索者たちを狩るために現在の時空にやって来ます。この邪悪な獣は、レジンガム邸周囲の空間を歪め、脱出不能にしてから、ゆっくりと探索者たちをなぶり殺しにするつもりです。

06. 想定するセッションの流れ

- (1) シジウィック会長またはオルコットから依頼を受ける
- (2) 降霊会の怪現象に遭遇し、レジンガム邸に閉じ込められる
- (3) 屋敷を探索し、対処方法を見つける
- (4) ティンダロスの猟犬を撃退するか、屋敷から脱出する

07. 導入

(1) 心霊現象研究協会からの依頼

〈科学系技能〉が高かったり、過去に怪事件に遭遇していたり、教養が高かったりする探索者は、英国心霊現象研究協会のシジウィック会長から、降霊会の真偽を科学的に見極めるよう依頼されます。

「よく来てくれた。早速だがこの手紙を見て欲しい」

【心霊現象研究協会への手紙】

当方、失踪したレジンガム卿の捜索のため、旧来の様式とは異なる、全く新しい降霊術を試みんとするものなり。貴会による厳粛な審査を望む。

イリーナ・ペトローヴナ・フォン・ハーン

「マダム・ハーンは、かつて当協会によってイカサマを暴かれ、追い立てられた自称・霊媒師じゃ。その彼女がこうして再び我々に連絡を寄越したという事は、よほどの考えがあるのか、それとも、性懲りもなく、また詐欺行為を始めたのか……」

「この降霊会が新たな科学の誕生となるのか、あるいは狂気の沙汰で終わるのか。君に見極めてきて欲しい」

「よろしく頼むよ」

(2) オカルト雑誌からの依頼

その他の探索者は、オカルト雑誌『科学時代の答え』編集長のオルコットから、降霊会への参加を要請されます。

■〈オカルト〉の技能が高い探索者は、オルコットの友人・知人なのかもしれません。マダム・ハーンの降霊会にぜひ参加して欲しいと言われます。

■〈母国語〉〈芸術/製作（執筆）〉などの技能が高い探索者は、『マダム・ハーンの再来』を大々的にアピールするために、降霊会に参加して記事を書いて欲しいと頼まれます。

■〈信用〉が高かったり、上流階級の探索者は、(降霊会の箔付けのために) 高名な貴方にぜひとも参加して頂きたいと丁寧に誘われます。

■それ以外の探索者は、降霊会を必ず成功させるために、サクラとして参加しすることを依頼されます。オルコットは「何も起きなかった場合は、心霊現象に見える騒ぎを起こしてくれ」と言います。マダム・ハーンの名誉を傷付けないよう、「くれぐれもバレないように」と念押しされるでしょう。探索者が下層階級の場合は、降霊会に参加してもおかしくない程度の衣装が用意されます。

08. 事前調査

降霊会に参加する前に、探索者たちは次の調査をすることができます。

→ 〈知識〉

【マダム・ハーンについて】

ウクライナ出身。世界を遍歴し霊媒の教養を身に付ける。主に英国・米国・印度で多くの支持者を得たが、心霊現象研究協会によって『詐欺師』と判断され、その権威は失墜した。

【ピーター・レジinghamについて】

ロンドン生まれ。準男爵。オックスフォード大学卒。オーストラリアに鉱山を所有。ホットスパー・クラブ会員

→ 〈図書館〉〈オカルト〉

【『タイムズ』(10年前の記事)】

～有名霊媒師、ペテンを曝かれる～

6月24日、英国心霊現象協会は公聴会にてマダム・ハーンの霊媒は詐欺であると断じた。心理的・機械的な手品であるとして、彼女の行動をそっくりそのまま再現したのだ。その場にいた支持者たちは裏切りだと彼女に暴言を浴びせかけ、警官が

出動する騒ぎとなった。

【『デイリーメール』(5年前の記事)】

～レジingham准男爵 狂気の失踪～

スコットランド・ヤードは昨日、ピーター・レジingham卿が行方不明になっていることを発表した。卿は昨年、婚約者のマージョリー・リンドン嬢が馬車の転倒によって事故死して以来、悲しみのあまり正気を失っていた。事故当日はリンドン嬢の誕生日であり、レジingham邸での昼食会に向かうところだったという。

今や彼はヒースクリフのように、嵐が丘ならぬロンドンを放浪しているのかもしれない。レジingham卿は黒髪に灰色の目、身長5フィート7インチ。有力な目撃証言には多額の賞金あり。なお、屋敷の使用人たちも同様に姿を見せないという。

09. レジingham邸へ

探索者たちは、降霊会の舞台であるレジingham邸の前で合流します。

レジingham邸は、柱廊玄関のある2階建ての屋敷だった。かつては威厳を持っていたらうその建物は、長年放置されていたせいですっかり荒れ果てている。

夜半を過ぎて貴方たちが到着すると、ひとりの女性使用人が現れた。

「えーっと、お待ちしておりました。アタイ、じゃなかった、わたくし、マダム・ハーンの助手のジェニー・フォックスです」

「案内しますんで、どうぞこっちへ。ああ、蜘蛛の巣には気をつけ、お気を付け下さいませ」

彼女の案内のもと、門をくぐり、庭を越えて、屋

敷の中に入る。広い玄関ホールだ。ジェニーが照らすランタンの光に、埃が舞っている。そのまま屋敷の奥へと歩く貴方たちは……

→〈目星〉

歩いている途中で、嚴重に封鎖されている部屋があることに気付く。入り口に戸板が打ちつけられ、さらに鎖が巻かれている。

部屋に注目する探索者に対して、ジェニーが言います。

「ああ、そこは食堂っすよ。レジingham卿の悲恋は知ってますか？ 昼食会の当日に婚約者を亡くしちゃって、哀しみのあまり中のモノをそのままに封鎖したとか」

「こじ開けて入れば、ミイラ化したご馳走に出会えるかもしれないっすね。あははー」

やがて貴方たちは、レジingham邸 1 階のサロンにやってきた。マントルピースの上に真鍮製のろうそく立て。壁にも取り付けた燭台。ロウソクの炎によって、部屋全体が明るく揺らめいている。

部屋の中央にはオーク材の丸テーブルが置かれており、二人の先客、紳士と婦人がいた。婦人が立ち上がり、挨拶をする。

「お初にお目にかかります。わたくしは霊媒師のハーン。こちらは皆様と同じく降霊会参加者のサー・レオノール・パイパー」

→〈知識〉〈近接戦闘〉

サー・レオノールはフェンシングの有名な選手だ。昨年の欧州選手権では三位だった。おそらく、この降霊会の箔付けのために呼ばれたのだろう

「……どうも」

サー・レオノールは素っ気ないどころか、ぶっきらぼうな態度です。(これは彼が必死に怖さを押し隠しているからです)。

マダム・ハーンは、探索者を例えば下記のように歓迎し、着席するようながします。

「これはこれは。心霊現象研究協会からようこそいらっしやいました。今度こそ、ぜひとも厳正なる審査をお願いしたいものですね。ふふん」

「それから、貴方には素晴らしい記事を期待しておりますわ。まさに今夜は人類の革新が起きるのですから」

10. 降霊会

テーブルに全員が着席すると、マダム・ハーンはテーブルの上、自分の手前に、直径 6 インチ (15 センチ) ほどの鏡を置き、次のように話し始めます。

「かつての私は、真実を知らない未熟者でした。しかし今は違います」

「不甲斐ないスコットランド・ヤードに代わり、行方知らずのレジingham卿と、交信してご覧に入れましょう。卿が生きているのか、それとも死んでいるのか、どちらであろうとも、直接本人から伺った方が明確になるはずですよ。言葉を尽くすよりも、お見せした方が早いでしょうね」

「それでは、さっそくレジingham卿との交信を始めましょう」

「まずは全員手を繋いで下さい」

「そして黙って。卿が話しかけてくるまでは、決して、一言も喋らないように」

「卿が話しかけてきたら、みなさんが質問をしてください。わたくしは状況を維持するに専念しておりますので」

「では、参ります」

マダム・ハーンは呪文を唱え始めます。

「よぐ=そとーす、よぐ=そとーす、おんぐ だ
くた りんか、おんぐ だくた りんか、やーる
むてん、やーる むてん よぐ=そとーす、よぐ
=そとーす」

何語かも分からぬそのまじないは、しかし聞く者
の脳を揺さぶるに十分な禍々しい響きを備えてい
た。蕩々と続くその呪文を聞いているうちに、自
らの精神が肉体と切り離されたかのような、言い
しれぬ不安感がわき上がってくる。

神話的な呪文を聞いてしまった

→SAN チェック (0/1)

やがてロウソクが大きく揺らめくと、鏡にぼんや
りと男の姿が現れ始めた。髪を振り乱し、高価な
はずの装いはだらしく崩れている。石壁の部屋
に居るようだが、暗くてはつきりとはわからない。

→事前調査をしていた場合

レジンガム卿の似顔絵とそっくりだと言うこと
が分かる。

→〈知識〉〈科学系技能〉

ただの鏡がこのような現象を起こすはずもない。

→SAN チェック (0/1)

→〈心理学〉〈聞き耳〉など

マダム・ハーン : 一心不乱に集中している。

余裕は無さそうだ。

ジェニー : 興味深そうに見つめている。

感心しているようだ。

サー・レオノール: 青ざめた顔で冷や汗を垂ら
している。この現象に恐怖しているようだ。

さらに、音はひび割れているが、鏡から男の声
が聞こえてきます。

「なんだ、これは、お前たちは……」

探索者たちが何か尋ねると、男は、はつとした顔
で叫び出します。

「止めろ！私が言葉を交わしたいのはマージョリ
ーただひとりだ！！くそつ、こんな、こんな茶番
などに、私の時間をッ！」

鏡に映った姿が乱れ、音割れが酷くなっていく。

「待てッ！ まだ、や、やめろ……やめてくれッ！」

次の瞬間、鏡がまるで沸騰したかのように泡立つ
と、紫色の液体が噴き出した！最も鏡の近くに居
たマダム・ハーンは、その液体を顔に浴びてしま
う。彼女は恐ろしい絶叫を上げると、椅子から転
げ落ちて床を転げまわった。みるみるうちに顔が
焼けただれていく！

怪現象による惨状を見てしまった

→SAN チェック (1/1D3)

傷付いたマダム・ハーンは息も絶え絶えです。ジ
ェニーが叫びます。

「マダム！ああ、なんてこった。ひでえ怪我だ！
誰か手当を」

▼マダム・ハーンの手当

→〈医学〉〈応急手当〉

危険な状況である。一刻も早く病院で処置しな
ければならないだろう。

▼鏡 or 毒を調べる。

液体の噴出は収まっている。よくある市販の鏡の
ようだ。

→〈自然〉〈生物学〉〈薬学〉〈医学〉〈物理学〉〈機械修理〉など

毒の正体は分からない。鏡には何の仕掛けも見あたらない。人間の科学ではこんなことはできない。→SAN チェック (0/1)

11. 脱出不能

大怪我を負ったマダム・ハーンを、ジェニーは病院に運ぼうとします。

「と、とりあえず降霊会はもう中止にして、マダムを病院に運ぶっす！」

※この時、ジェニーはマダム・ハーンの手持っていた『無名祭祀書』をすり取っています。売れば金になるだろうとの判断です。もし探索者が付きっきりの場合は、【12. レジingham邸の探索】で行動を起こします。

サー・レオノールはうろたえるばかりです。

「な、何が起きたのだ!？」

一同が屋敷から出るために、足早に暗い廊下を通過して、玄関の扉を開けると、そこには平穏な光景が広がっています。

庭の向こうに、ガス燈にともされた通りが見える。この屋敷で惨劇が起きたことなど気にもとめていないかのような、静かな夜だ。

しかし、玄関から出ようとする、異常な現象が発生します。探索者が躊躇する場合は、サー・レオノールが「こんなところにいられるか!俺はもう帰るぞ!!」と叫んで出ようとしています。

貴方が玄関から一步踏み出した瞬間、貴方は屋敷に足を踏み入れていた。何かとんでもない勘違いをしているのかと思い、ぐるりと反転して、もう

一度玄関から外に出ようとする。やはり、屋敷の中に入っている。周りから見れば、玄関から出た途端に、屋敷に入ってきている。何度繰り返しても同じことだ。まるで空間をメビウスの輪のごとく歪めたかのようだ。

名状しがたき現象によって、屋敷に閉じ込められてしまった!

→SAN チェック (1/1D6)

この現象に遭遇したサー・レオノールは、絶叫して屋敷の中に駆けていきます。

「わああああああああああああっっっ!!」彼の行動に警戒している探索者がいた場合は、サー・レオノールとの〈近接戦闘〉の対抗ロールに勝てば取り押さえることができます。

▼外の様子について

外は見えている。時折、馬車や通行人が通る。しかし、いくら大声を上げても、誰も気付いてはくれない。

→〈目星〉

玄関にうっすらと紫のもやが見える。まるで紫の膜が屋敷全体を覆っているかのようだ。

※この現象は、ティンダロスの猟犬が自分の身体の一部で屋敷を覆い、空間を歪めたことによるものです。(紫色の膜もティンダロスの猟犬の一部ということです)。もし、探索者が警戒して、そこらのネズミやガラクタを外に放り出した場合も同じことが起きます。人が体験する場合と比べて SAN 値減少の度合いを小さくするかどうかは、KP の判断にお任せします。裏口や窓から出ようとしても同じことが起きます。

ここでジェニーが提案し、探索パートが始まります。

「いったい何が起きてるんすかね……とりあえず
マダムを休ませられる場所……さっきのサロンに
戻っていいですか？」

12. レジingham邸の探索

ジェニーは降霊会の前にこの屋敷をひとつおり調
べており、どんな部屋があるか確認しています。
現状、探索箇所は以下の通りです。

1階

- (1) サロン (降霊会場)
- (2) 食堂
- (3) ギャラリー
- (4) 台所兼使用人部屋

2階

- (5) 主人の寝室
- (6) 倉庫
- (7) 居間
- (8) 書斎

ジェニーはサロンでマダム・ハーンを手当てし始
めます。探索者は彼女からランタンを借り受ける
ことができます。彼女からは以下のことが聞き出
せます。

▼マダム・ハーンとの関係について

「マダムの下で仕事を始めたのは、ここ半年ほど
のことです。職業斡旋所でお会いしました」

「アタシは基本、身の回りのお世話をするだけで
すから。心霊術については何も知りません。正直、
あんまり興味も無いっていうか」

「さっきのアレはさすがにびっくりしましたがけど
……ホントにこの人、霊媒師なんだなって」

▼鏡について

「降霊術に使うからとか言われて、そこらの店で
買った安物です」

▼マダム・ハーンの荷物を調べる

身だしなみを整えるための品々や財布、パラソル
などがある。特に不審なものはみつからない。

▼マダム・ハーンの容態

マダム・ハーンは硫酸を浴びたように焼けただけ
でいます。意識は混濁して朦朧としているようで
す。話せる状態ではありません。

※〈応急手当〉や〈医学〉に失敗していて、探索が長期
化するとマダム・ハーンは死亡します。苦しみに満ちた
痛ましい彼女の末路に、自分たちもいずれこうなってし
まうと感じてしまい、SAN チェック (1/1D6)。

ジェニーは探索者たちにこう言います。

「アタシは、とりあえずマダムのおそばにいます」
※これは嘘です。実際は、探索者たちがサロンからい
なくなり次第、屋敷の二階に行って金目のものを探し始め
ます。

13. サー・レオノールの行動について

【11. 脱出不能】で逃亡している場合、サー・レ
オノールは1階の [ギャラリー] か、[台所兼使用
人部屋] にいます。どちらにするか、探索者の動
きに応じて配置して構いませんが、処理が複雑に
なって大変だと感じる場合は、事前に決めておい
てしまってもいいでしょう。

サー・レオノールは部屋の隅でうずくまって震え
ています。〈心理学〉に成功すれば、ひどくおびえ
ていることが分かります。ロールプレイで励ます
なり、〈精神分析〉〈交渉系技能〉に成功すればな
んとか立ち直ってくれます。同行を望めばし

ぶうなずくでしょう。そうでない場合はサロンに行きます。

彼はこの現象については何も知りません。

「俺は何も知らん！ただ、雑誌社に無理矢理参加させられただけだ！だれが好き好んで、夜の廃墟の降霊会になど行くものか！！」

探索者がサー・レオノールにまったく関わらず、放置した場合、KPは任意のタイミングで彼を発狂させ、探索者を襲わせてください。武器はそこらに落ちていた木の棒（ダメージ 1D4+1D4）か、もしくはギャラリーで入手したレイピア（ダメージ 1D6+1+1D4）です。取り押さえて〈精神分析〉に成功すれば、正気に戻るでしょう。

14. ジェニーの行動について

【12, レジingham邸の探索】で会話を終え、探索者がサロンを離れたタイミングで、ジェニーは2階に行きます。それがどの部屋かは探索者の動きに応じて配置して構いませんが、処理が複雑になって大変だと感じる場合は、事前に決めておいてしまってもいいでしょう。

彼女は、どさくさにまぎれて金目のものを盗むつもりです。KPは探索者が1階を移動する際に、ジェニーがいなくなっていることを伝えてください。

探索者がジェニーと遭遇すると、イベント【22, 襲われるジェニー】が起きます。

15. 1階：(2) 食堂

食堂の入り口は戸板と鎖で嚴重に封鎖されています。〈機械修理〉〈鍵開け〉などで開ける場合は工具が必要でしょう。武器や銃器を使えば無理矢理壊すことは可能です。開く前に〈聞き耳〉をすれ

ば、小さな動物がかけずり回っている音がします。

その扉が開いたのは何年ぶりだろうか。テーブルには食器が並べられ、パーティの痕跡が残っている。花刺繡のテーブルクロスは既に虫食いだらけだ。黒光りする虫やネズミが、宴の残骸の間を我が物顔で走りまわっていた。

→ 棚を調べると宣言する、または〈目星〉

棚のいちばん上に、豪華な包みの箱を発見した。なにかのプレゼントのようだ。

包みの中には古ぼけたペンダントとメッセージが入っています。

【メッセージ】

愛するマジョリーへ

君のためにプレゼントを用意したよ。「星の石」と言うそうだ。少し変わった代物だが、君ならきっと喜んでくれるだろう。幽霊と出会っても連れていかれないように、これを身に付けていてくれ。

ピーター

ペンダントは、不気味な紋様が刻まれた灰白色の石です。

→ 〈考古学〉〈歴史〉

非常に古いものようだ。ローマ帝国以前のものかもしれない

→ 〈オカルト〉

どうやら護身用のまじないがかけられているようだ

→ 〈クトゥルフ神話〉

このペンダントはこの世には存在しない石「ム

ナールの星石」だ。神話生物を弱体化させることができる

KP ほどの探索者がこのアクセサリを所持するのか、確認してください。

16. 1階：(3) ギャラリー

ここは古今東西の武器が陳列された武器庫のようだ。手前のガラスケースには豪華な装飾の施された拳銃やショットガン、ライフルが並び、奥の棚には刀剣類が展示されている。部屋の中央にはいくつもの中世の甲冑が立っていた。

サー・レオノールが同行している場合、レイピアを入手します。

「ふん、このレイピア、使えそうだな」

ここで〈近接戦闘（刀剣・斧・槍・フレイル）〉や〈射撃（拳銃・ライフル／ショットガン）〉に成功すれば、品質・状態を見極めて、それぞれの武器を手に入れることができます。

ここで〈アイデア〉に成功するか、PLからの提案があれば、甲冑のパーツを外して装甲にすることができます。装甲にできるのは各探索者のSTRの20分の1（端数切り上げ）です。パーツは探索者全員分のみで、予備はありません。

[ヘルメス・トリスメギストスの毒塵弾] についての情報を得ている場合は、ここで毒塵弾が4発入手できます。拳銃であればどんな種類であっても、この弾丸を撃てるものとします。また、工具を入手しており、〈機械修理〉または〈射撃（拳銃・ライフル／ショットガン）〉に成功すれば、毒塵弾をライフルやショットガンで撃てるように改造できます。KPは誰が何発所持するのか、確認してく

ださい。

[工事の記録] についての情報を得ている場合は、床下に地下室への入口を発見することができます。

17. 1階：(4) 台所兼使用人部屋

かまどのある台所は、食器も調理用具もすっかり錆びてしまっている。半円形のボウルが床に転がっていた。台所の奥は使用人部屋となっているようだ。質素なベッドが並んでいた。

→ 〈目星〉

ベッドの隙間に日記が挟み込まれているのを発見する

【使用人の日記】

旦那様の趣味にはもううんざり！ いくらマージョリー様がオカルト好きだからって、いつもいつもあんなものを食堂の棚に置き忘れないで欲しい。可哀想に、ターシャったらずっと泣きべそをかいてたわ。

マージョリー様が亡くなってからというもの、ここはまるで幽霊屋敷のよう。旦那様は、いったい何をなさろうというのかしら。

ずいぶん痩せてしまったけど、旦那様が元気な顔を見せるようになった。こんど使用人のための慰労会を開いて下さるそう。嬉しいな。何を着よう。

18. 2階：(5) 主人の寝室

この部屋は鍵がかかっており、開けるには[寝室の鍵]を使うか、〈鍵開け〉〈機械修理〉に成功するか、または物理的に破壊する必要があります。

調度品の少ない殺風景な部屋の中にぽつんと置かれた大きめのベッド。寝室だ。

部屋を調べると、サイドテーブルの上に革表紙の日記を発見します。

【レジンガム卿の日記】

どうやら私は死者になってしまったようだ。何も感じる事ができない。ただ一つ考えることは、どうすればマージョリーに会えるかということだけ。いったいどうすれば……

偽りばかりの霊媒師どもに災いあれ！

時の関節を外してしまうのだ。そうすれば、私は彼女とまた話せる。そして警告するのだ。そうすれば、私たちの幸せを取り戻せる。

過去過去過去過去を我が物にするのだ準備を準備よぐ=そとーすよぐ=そとーすよぐ=そとーす

まあじょりに

19. 2階：(6) 倉庫

ガラクタが乱雑に詰め込まれたここは、物置だ。長靴に外套、作業着、石炭やシャベル、ランプ、工具など、さまざまな品物が置かれている。

ここで〈目星〉や〈幸運〉などに成功すれば、(屋内の倉庫に置いてあるようなものならば) 希望する物品が、まだ使える状態で手に入ります。

20. 2階：(7) 居間

かつては居心地のいい空間だったのかもしれない

が、いまは見る影もない。ソファはほころび、暖炉は暗く冷たいまま蜘蛛が巣を張っている。唯一、在りし日を思い起こさせる絵画も、暗い雰囲気をつたえていた。マントルピースの上には、使用人が置き忘れたのか、帳簿が置かれていた。

→〈知識 (ハード成功)〉〈芸術〉

飾られている絵画は、ヴィクトリア朝の画家、ヘンリー・アレクサンダー・ボウラーによる『疑い——これらの枯れた骨は蘇りうるのか』だ。墓石に身を寄せた乙女が、人骨を見つめて考え事をしているさまを描いている。教会が説いている死の運命に対して不信をあらわす作品だ。
<https://www.tate.org.uk/art/artworks/bowler-the-doubt-can-these-dry-bones-live-n03592>

→〈経理〉〈図書館〉〈目星〉など

帳簿を調べたところ、失踪事件が起きる前に、ギャラリーを工事した記録が見つかった。取引先などを見るに、どうやら地階への階段を取り付けたようだ。

21. 2階：(8) 書斎

文机の上にランプ、壁に大型の本棚が並ぶ書斎だ。オカルトにまつわる本が雑多に置かれている。

→〈図書館〉〈目星〉

本と本の間、一通の手紙が挟まっていた。高価な封筒だ。差出人の名前は書かれていない。

【差出人不明の手紙】

謹啓

貴君のご所望通り、ヘルメス・トリスメギストスの毒塵を込めた銀の弾丸を、お送りいたします。誠に遺憾ですが、代金はいくぶんか不足しております

ましたため、お届けできるのは 4 発のみでございます。

→〈オカルト〉

ヘルメス・トリスメギストスとは伝説的な錬金術師の名前であると分かる

→〈クトゥルフ神話〉

ヘルメス・トリスメギストスの毒塵は、地球外の生物に多大な被害をもたらす、金色の毒薬であると分かる。(ティンダロスの猟犬の装甲を無視して 2D6 ダメージを与える)

22. 襲われるジェニー

KP は二階の部屋のどこかで、このイベントを発生させてください。

ランタンの灯りで部屋を照らすと、隅に人影が見えた。ジェニーだ。彼女は貴方たちに気付くと、はっとした表情で何かを後ろ手に回した。

「あー、えーっと、その、ほら、独りぼっちで怖くなっちゃって、アンタ達を探しに行ってたんだよ」

「アタシは何も知らねえ。本当だ」

突然、彼女は短い悲鳴を上げる。ジェニーの頭からは、おぞましい触手が生えていた。彼女は白目をむき、ガクガクと痙攣する。獲物をいたぶるかのように動くその触手は、まるで"舌"のようだった。

怪物の「舌」との遭遇

→SAN チェック (1/1D6)

よく見ると、不浄な長い舌は、部屋の角から生えているようだ。それがジェニーの頭を貫通し、さらに次の犠牲者を求めてうごめいている！

ティンダロスの猟犬の舌

STR40 DEX50

精神吸収：90% POW に 3D6 ダメージ

[STR 対抗ロールに成功する] [ムナールの星石を近づける] [ヘルメス・トリスメギストスの毒塵弾を命中させる] と、ティンダロスの猟犬の舌はジェニーを放し、消えてしまいます。

POW をすべて吸われてしまうか、探索者たちがその場から逃げ出すと、ジェニーは死亡します。その後、世にも恐ろしい惨殺死体を見た探索者は SAN チェック (1/1D6)。

ティンダロスの猟犬の舌を退けた場合でも、精神を吸われたジェニーは失神しています。頭に大きな跡がありますが、血などは出ていません。(応急手当)などに成功すれば、彼女はすぐに目を覚まします。

「うう、頭がくらくらする…まるで脳みそが吸われちゃったみたいだ…」

「あれ、アタシが盗ん……マダムからもらった売れそうな本はどこに!？」

「ちえっ、アタシはこの本を拝借して、この屋敷でほかに売れそうなものがないか探してただけだよ」

ジェニーを介抱するなり、隠していたものを調べると、一冊の古い本を持っていることが分かります。英語で『無名祭祀書』と題された本です。

このイベント以降、ジェニーは探索者の指示に従って行動します。

23. 無名祭祀書の情報

探索者は英語で書かれた『無名祭祀書』を読むことで、下記の情報を得ることができます。判定は不要ですが、ひとつの情報ごとに SAN チェック (1/1D4) が必要です。

▼マダム・ハーンのおこなった儀式や、状況の打開策について調べる

情報：ヨグ=ソトースとは、時間にも空間にも制限を持たない現象であり、窮極的な本質である。

呪文の知識：ヨグ=ソトースの加護を付与する 20 ガロン (約 90 リットル) の人血に漬け込んだ諸物に、ヨグ=ソトースの力を与える。それが鏡ならば時間を超越する力が、刃ならば空間を引き裂く力が得られる。

使用コスト：MP1D6 SAN 値 1D6

〈INT〉に成功すればこの呪文を習得できる

▼襲ってくる化け物や、今の屋敷の現象について調べる

情報：ティンダロスの猟犬は、時間が生まれる以前の超太古より、異常な角度をもつ世界に住む不浄な存在とされる。この異界の生物は、自らの身体の一部を放散させることによって、我々が住まうこの空間を自在に歪ませることができる。そうやって獲物を恐れさせ、いたぶり、狩るのだ。尋常の品でこの異界の生物を殺すことは不可能である。

▼ヘルメス・トリスメギストスの毒塵について調べる

情報：ヘルメス・トリスメギストスの毒塵とは、

地球外の生物に多大な被害をもたらす、金色の毒薬である。

▼ペンダントについて調べる

情報：ムナールの星石は、邪悪な存在を弱らせることのできるしるしである。

24. ティンダロスの猟犬の妨害

日記や魔道書、手紙を読んだり、技能判定に何度も失敗して時間がかかっていたり、何かの作業をしている場合、KP は下記のイベントを発生させてください。

イベント (1)

突然、部屋の隅から、紫色の煙が立ち上ってきた。同時に、匂いと呼ぶのもおこがましい、生者を冒瀡するかのときおぞましい臭気がただよってくる！

→〈CON〉

失敗で吐いてしまい、1D6 ラウンド動けなくなる

イベント (2)

突然、天井に霞がかかったと思うと、忌まわしい色彩の液体が滴ってきた。マダム・ハーンを負傷せしめたあの恐ろしい毒液だ！

→SAN チェック (0/1)

→〈回避〉〈DEX〉失敗で 1D6 ダメージ

ギャラリーで手に入れた装甲を付けている場合、装甲分だけダメージを減少できますが、溶けて使い物にならなくなります。

イベント (3)

あなたは立ちくらみをしたと思った。めまいだ。そう思って目をこするが、状況は変わらない。床も壁も家具も柱も、すべてが歪んでいるように見

えたままだ。ふと手を見ると、自分の手すらひしゃげている。屋敷が空間ごと、ぐしゃぐしゃと潰されていくようだ。ああ、一刻も早くここから脱出しなければ狂ってしまう。

→SAN チェック (1/1D4)

25. 地下室

情報を得ている場合、ギャラリーの床から、地下室に行くことができます。

重い入口を開けた瞬間、不快な異臭と共に、黒い羽虫、無数の蠅が貴方たちにまとわりついた。崩れかけた階段が、暗い闇の中へ消えていく。

サー・レオノールが同行している場合、彼は怖がって降りようとしません。

「こんなところ、頼まれたって入るものか！」

狭い地下室に明かりをもたらした貴方たちは、目撃してしまう。そこには、いくつもの、いくつものミイラ化した裸の屍体が宙づりにされていた。金属製のフックが、哀れな犠牲者の首を、胴体を、頭を貫いているのだ。体の真下には、真鍮製の大きなバスタブがどす黒い血液を湛えていた。

かつての惨劇の跡を見てしまった

→SAN チェック (1/1D6)

部屋を見渡すと、隅に倒れているミイラを発見します。服装から判断すると、それは貴族の死体のようです。また、奇妙なことに、屍体はミイラ化しているにも関わらず、バスタブの血液はまだ乾いていないようです。

→〈目星〉

・貴族の衣服の中から「寝室の鍵」が見つかる

→〈医学〉〈応急手当〉

・よく見ると貴族の死体には、頭に大きな跡が開いている。ジェニーの傷跡に似ている。

→〈オカルト〉〈アイデア〉

・貴族の死体は手に砕けた鏡を持っている。彼はレジingham卿であり、ここで鏡を使った降霊術を試みたようだ。

→〈クトゥルフ神話〉

・死体はヨグ=ソトースの力を行使して、過去との交信を試みたようだが、マダム・ハーンのそれと混信してしまったようだ。

バスタブの血に刀剣類を浸せば、呪文「ヨグ=ソトースの加護を付与する」を行使することが可能です。加護が付与された剣は、鬼火のようにほのかに青白く光り輝きます。

26. 猟犬との決戦

ヨグ=ソトースの加護を得た探索者が、屋敷から出ようとする、ティンダロスの猟犬が出現します。

玄関は開いていた。紫色の膜の向こうに、平穏なロンドンの夜がある。だが、玄関の前には、四本脚の怪物が立ち塞がっていた。口と呼ぶにも忌まわしい器官から、太く鋭く伸びた注射針のような舌が延びている。曲がりくねったその動きに、貴方は気付く。この化け物は、哀れな犠牲者を狩ることを愉しんでいるのだ！

ティンダロスの猟犬と遭遇した

→ (SAN チェック 1D3/1D20)

※「ティンダロスの猟犬の舌」での SAN チェックも合わせて、最大で 20 までしか減りません。たとえば、舌で「5」

減少している場合、ここで16以上のダイス目でも「15」までしか減りません。

怪物は魂を凍えさせる吠え声を上げると、貴方たちに襲いかかってきた！

ティンダロスの猟犬 残酷な狩人

STR80 CON150 SIZ85 INT90 POW120 DEX50

耐久力 23

前足：90% 2D6+毒による 2D6 ダメージ

舌：90% POWに 3D6 ダメージ

装甲 2

※戦闘について

(1) 【22. 襲われるジェニー】でダメージを与えている場合、ティンダロスの猟犬は耐久力が減ったままです。

(2) [ムナールの星石]を探索者が持っている場合、毒ダメージは発生しません。

(3) [ヘルメス・トリスメギストスの毒塵弾]は、装甲を無視してティンダロスの猟犬に 2D6 ダメージを与えます。

(4) ティンダロスの猟犬は、まず、ムナールの星石を身に付けた探索者を[前足]で狙います。命中しても探索者はダメージを受けませんが、ムナールの星石が粉々に砕けて効力を失います。

(5) ティンダロスの猟犬をかわして玄関に向かうには、DEX 対抗ロールに勝利する必要があります。ただし、誰かが怪物に近接攻撃している場合は、対抗ロールにボーナスダイスを獲得できます。サー・レオノールを味方に付けていれば、玄関前にたどり着くことは難しくありません。

(6) 屋敷を覆う「紫色の膜」に、ヨグ=ソトースの加護を付与した刃で斬りつければ、装甲を無視してティンダロスの猟犬にダメージを与えることができます。さらに、膜に人が通れるくらいの裂け目ができ、ここから判定無しで屋敷の外に脱出することができます。

(7) すべての有効なアイテムを手に入れているとしても、ティンダロスの猟犬は強敵です(倒さなくてもクリアは可能ですが)。PLが戦闘に慣れない場合、KPは「幸運を消費する(技能ロールの数値を変更できる)」「ゼロ射程(近い相手を狙う場合にボーナスダイス付与)」「火器とDEX順(火器で狙っていた場合DEXに+50)」「幸運を消費して意識を保つ(CONロールに失敗しても気絶しない)」といったオプションルールを有効に使うようアドバイスしてもいいでしょう。

「紫色の膜」の裂け目から脱出するか、ティンダロスの猟犬を撃退すれば、生還エンドです。

27. エンディング

エンディング 1

《ティンダロスの猟犬をかわして、探索者が裂け目から全員脱出した場合》

貴方はティンダロスの猟犬の襲撃から、なんとか逃げ出すことができた。背後で邪悪な怪物が咆吼していたが、決して振り返りはしなかった。

帰り道、ロンドンの朝はいつもと変わらない喧噪に満ちている。ああ、悪夢のような一夜は、もう過去のものなのだ。貴方はもろもろの後始末を終えて、日常に戻っていく。

だが、ふとした瞬間に、貴方はどうしようもなく部屋の隅を見つめてしまう。今にも紫色の煙が沸き上がってくるのではないか？ 毒液がしたたり落ちてこないだろうか？ ほら、あの角から怪物が……

探索者は平穏な日々を取り戻すことなく、シナリオは終了します。

・ティンダロスの猟犬と遭遇し、生存した探索者は、SAN 値を 1D6 回復します。

エンディング 2

《ティンダロスの猟犬の耐久力をゼロにした場合》

その一撃が命中すると、ティンダロスの猟犬は絶叫した。怪物の身体が、まるでデッサン画をパンで消すかのごとく、みるみる欠如していく。そして、どこにもいなくなった。屋敷を覆っていた不快な膜も消えていた。貴方たちは恐るべき神話生物を滅ぼしたのだ！

悪夢のような一夜は過ぎ去った。おそろおそろ踏み出したその一歩は、庭を踏みしめることができる。時間と空間は平穏を取り戻した。振り返ると、呪われた屋敷を浄化するかのように、朝日が降り注いでいた。

雑誌社や心霊現象研究協会への報告をして、シナリオは終了です。

・ティンダロスの猟犬を撃退した探索者は、SAN 値を 2D10 回復します。

・さらに、生存した NPC ひとりごとに SAN 値を 1 回復します。

※ヨグ=ソトースの加護とヘルメス・トリスメギストスの毒塵弾は、このシナリオが終えると効力を失います。

(呪文は長続きせず、探索者は毒塵の保管方法を知らないためです)。バスタブの血液は固まり、ここで同じ呪文を使う事はもうできません。

28. 終わりに

廃墟となった貴族屋敷で降霊会をしてティンダロスの猟犬から逃げ惑うという、非常にクラシカルなクローズドシナリオですが、「たまには強力な神話生物を真っ向から倒そうぜ」というやんちゃな趣向から生まれました。本シナリオは、自由に改変や動画作成、配信等をして頂いて構いません。ヴィクトリア朝の一夜を楽しんでいただければ幸いです。

製作日：2021 年 1 月 16 日

製作者：gisyo